

豊岡市市制20周年記念事業「市ロゴマーク」最終候補作品

作品番号	作品	デザインに込めた思い	作品番号	作品	デザインに込めた思い
1		このロゴには、「山・海・コウノトリ、人の温かみ」という豊岡市の魅力が込められています。上部の三角形は、豊岡を囲む山々を象徴し、下部に並ぶ三つの楕円形は、コウノトリが翼を広げた姿、海の波の動き、伝統工芸である紀柳細工の模様を表現しています。中央にある円形は、人の存在とその温もりを象徴し、自然と共に生きる豊岡の暮らしを表しました。円に加えた赤色により、人や街がもつ温かさを視覚的に際立たせています。	6		このロゴには、「ようこそ豊岡へ」「また帰ってきたよ」という、温かい気持ちが入っています。下のコウノトリは、訪れる人を歓迎する「よう来んさった」。上のコウノトリは、「ただいま」と何度でも帰ってきたくなる豊岡の姿を表しています。今豊岡で暮らしている人も、これから訪れる人も、初めて豊岡を知る人も、このロゴをきっかけに、「もっと豊岡のことを知りたい」「行ってみたい」と感じてもらえたら嬉しいです。
2		コウノトリが舞い、円山川が流れる自然豊かな豊岡。市民の誇りと調和の心を、円形の中に包み込みました。「小さな世界都市」として、地域から世界へ羽ばたく未来を象徴し、誰の心にも残る普遍的なロゴを目指しました。	7		モチーフのコウノトリは豊岡市を代表する鳥であり、町全体でコウノトリと共存する取組も世界的に注目されています。そんなコウノトリが羽ばたく姿は、20周年を機に、豊岡市が未来に向け発展、飛躍する事とイメージを重ねました。また制作にあたりフルカラー、単色、白黒での使用や、拡大縮小による展開など汎用性に考慮する事を心掛けました。
3		市の花「チューリップ」の中にコウノトリ2羽を組み入れて市民と行政が一体となって夢と希望の持てる明るい未来のまち(豊岡市)を目指して羽ばたく姿を市内外にアピールしているイメージで表しました。	8		辰鼓楼は豊岡市の豊かな文化・歴史を、そして[コウノトリ]が虹に向かって飛び立つ様で、豊岡市民が夢や希望に向かって躍進・挑戦する力強い姿をそれぞれ象徴。また全体のフォルムから[カバン]をイメージさせることで、カバン&豊岡市の関係に興味を持つ人々が一人でも多く国内外に広がるきっかけになればと思います。
4		澄み切った自然と世界が共存し、人々が暖かく接してくださる豊岡市が大好きで、そんな豊岡市に繊細で美しいタイポグラフィが合うのではないかと考え、今回、人と人との繋がりをイメージした繊細な文字を製作しました。その文字の周りには豊岡市の自然の象徴であるコウノトリ、太陽、雲とあたたかみを感じられるようなデザインを考案しました。	9		全体のビジュアルは、ひらがな"とよおか"の"と"と「本市の鳥：コウノトリ」を組み合わせてデザイン。Red-colorは市民の情熱&まちへの誇りや愛着の向上を意味し、Gold-colorは、未来に向けて飛躍・発展する『豊岡市』の認知度向上UPを表現したシンプルなロゴマークデザインです。
5		1市5町のつながりと調和を六角形に込め、広がる線で自然と共に生きる豊岡の姿を描きました。コウノトリの羽根の形は、世界から注目される野生復帰への願いや誇りを象徴しています。地域(県内最大面積)の豊かな自然と米作り、そして未来へ羽ばたく姿を重ね、見る人の記憶に残る、強い存在感を放つロゴを目指しました。知名度の向上と共に、市民の誇りも育まれることを願っています。	10		十数年前、彼女のご両親が住む豊岡へご挨拶に向かう道中、コウノトリの巣に佇む一羽の姿に緊張が和らぎ、心の安らぎを得た経験があります。『幸せを運ぶ鳥』がくれたその温かな気持ちを、このロゴデザインで表現したいと考えました。今では妻になり、子どもも毎年帰る場所になっています。このデザインを通して、お世話になっている豊岡市に少しでも貢献できればと願っております。

- ・応募デザインのまま掲載し、ランダムに配置しています。
- ・採用作品は、原案を尊重しながら一部補正を行う可能性があります。